

コンクリート耐摩耗工法

アルファテック 645 (AT645) シリーズ

コンクリート耐摩耗工法は、耐摩耗性能に優れたエポキシモルタルを用いて、流水や土砂による摩耗からコンクリート構造物を保護する工法です。

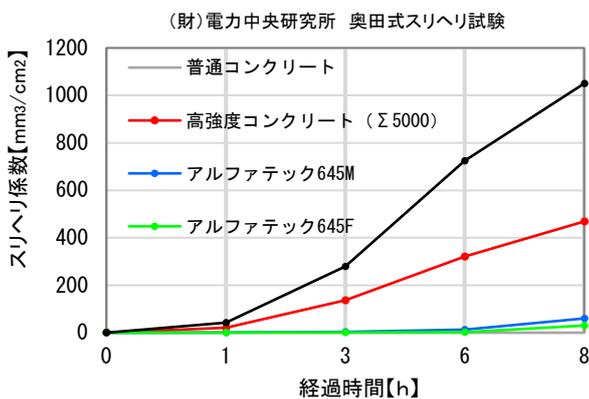
用途

- 堰堤や取水堰の水たたき床版・土砂吐床版などの保護・補強
- 導水路インバートや河川橋脚などの保護・補強

特徴

高い耐摩耗性能	アルファテック645の耐摩耗性能は高強度コンクリートの20倍以上を示します。また、高い圧縮・曲げ・引張り・接着強度と耐衝撃性能にも優れるため、極めて耐久性の高いコンクリートの保護工法です。
優れた接着性能	アルファテック645の接着性能は、大気中はもとより水中施工においてもコンクリートの破壊強度以上なため、保護材と躯体を完全に一体化することができます。
状況に適した選択が可能	アルファテック645シリーズの製品はパテタイプ・高流動モルタルタイプ・モルタルタイプ・コンクリートタイプの4種類があります。いずれも耐摩耗性能と耐衝撃性能に優れるため、状況に応じた最適なタイプを選択することができます。

スリヘリ試験結果



製品特徴

製品名	タイプ	施工対象
アルファテック 645F	フロー	斜面・鉛直面 (型枠併用)
アルファテック 645M	モルタル	平面
アルファテック 645C	コンクリート	平面 50 mm以上
アルファテック 645P	パテ	表面仕上げ

施工事例

【①平面の耐摩耗保護】

流水の衝撃と土砂の流出により摩耗したコンクリートを保護するための水たたき床版の施工例です。

(施工手順)

- ①下地処理(目粗し)
- ②アルファテック340プライマー塗布
- ③アルファテック645M 打設
- ④同表面仕上げ



可動堰水たたき床版



可動堰水たたき床版

【②斜面と平面の耐摩耗保護】

土砂の流出により摩耗したコンクリートを保護するための取水堰の施工例です。

(施工手順)

- ①サンドブラストによる下地処理
- ②斜面部の型枠固定
- ③型枠パテシール
- ④加温養生
- ⑤アルファテック645F流し込み充填
- ⑥硬化養生 0°C~10°C×5日間
- ⑦脱型
- ⑧平面部のアルファテック645M 打設、645P施工
- ⑨同表面仕上げ



取水堰堤



型枠状況